

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会報

2023
月刊

9月号

第393号
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会



養護老人ホーム滴翠苑 長寿祝いの日

敬老の日

今年、九月十八日が敬老の日です。今年もつつがなく敬老の日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

社会福祉法人滴翠会の各施設では敬老会が開催されます。養護老人ホームは「長寿祝いの日」、救護施設慈翠館は「敬老祝賀会」、特別養護老人ホーム明翠苑とデイサービスセンター華翠会館は「長寿を祝う会」がそれぞれ執り行われます。

長寿者の皆様は表彰を受けると共に祝福の言葉を頂きました。昼食会では、お赤飯など特別なメニューを召し上がりお祝いました。

滴翠会の長寿者の皆様、誠におめでとうございます。今後とも変わらぬご健勝とご多幸を職員一同お祈りしております。



長寿祝いの日 祝宴

●養護老人ホーム
 てきすいえん
滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
 TEL〇二九九―五九―三六三一

長寿祝いの日

九月七日に第四十八回長寿祝いの日
 式典を執り行いました。この日を迎え
 られたことを嬉しく思います。

式典では、卒寿一名、傘寿一名、喜
 寿一名、古希三名の方がお祝いを受け、
 記念品として利用者の皆様に長寿の願
 いを込めてバームクーヘンが贈られま
 した。誠におめでとございます。

アトラクションとして利用者有志で
 カラオケを披露し、長寿のお祝いをし
 ていただきました。

祝宴では、滴翠苑特製お弁当を召し
 上がりました。利用者様からは美味し
 いとの声が聞かれ、大変好評でした。
 今年お祝いを受けた皆様、誠におめ
 でとございます。これからも健康長
 寿で過ごされますよう、来年も長寿祝
 いの日を迎えられることを祈っていま
 す。

「長寿祝いの日」で

お祝いを受けた皆様

○卒寿（九十歳）

綿引様

○傘寿（八十歳）

額賀様

○喜寿（七十七歳）

佐藤様

○古希（七十歳）

増田様

近藤様

長谷川様

皆様誠におめでとございます。



長 寿 祝 い の 日 ア ト ラ ク シ ョ ン

カラオケクラブ

滴翠苑では、余暇活動の一環として週二回カラオケを行っています。皆さん毎回思い思いの曲を歌って練習しております。

行事の際には、十八番の曲を披露され、行事を盛り上げていただいております。先日行われた長寿祝いの日の際にも長寿のお祝いに歌っていただきました。

歌を歌うことは身体的にも精神的にも良い効果があるとされています。歌う事で喉やお腹の筋肉が鍛えられます。それにより血液の循環が促進されます。また歌う事でストレス解消や認知機能の低下も防げるとの事です。

これからも元気いっぱい歌っていただき、心身ともに健康でカラオケを楽しんでいきましょう。

半ノ木霊園墓参り

毎年お盆の時期には、滴翠会の先亡利用者の皆様が眠っているお墓があります半ノ木霊園へお墓参りをしていきます。

今年は八月十四日に職員二名と利用者四名で行きました。

参加された利用者の皆さんはお線香を上げ、丁寧にお参りされていきました。今年も昨年同様感染対策を取りながらのお墓参りとなりましたが、無事にてきてよかったです。

お盆が明けてもまだまだ暑さは続きそうです。熱中症に気を付けながら夏を乗り越えてまいりましょう。

✿ 9月の行事

- | | |
|--------|-------|
| 長寿祝いの日 | 9月7日 |
| 味覚狩り | 9月12日 |
| 秋の彼岸法要 | 9月26日 |
| お誕生日 | 9月28日 |



花火を楽しむ利用者様

●救護施設
慈翠館じすいだより

石岡市半ノ木一―四六一
TEL〇二九九―二四―二八七一

夏まつり

八月四日、慈翠館では夏祭りを開催しました。昼食は夏祭りを意識した屋台メニューとし、午後には射的を行い夜には外で盆踊りと花火の予定となっていました。

当日は夏らしい青空となり、昼食の焼きそば、から揚げ、たこ焼き、アイスの食事に利用者様達はとても美味しく召し上がっていました。

射的では一等の景品を目指して皆真剣な様子。その中には笑いもあり、終始和やかな時間が過ぎていきました。夜の盆踊りと花火は突然の夕立で後日実施となりました。

記録的な酷暑となった今夏。急な激しい雨は乾いた地面を潤し、独特な夏の匂いが立ち込めました。花火の楽しみは少し先に延びたと考えて、その余韻を感じることまた良いのかもしれない。

スピーチロックス研修

菅谷 亜紀子

虐待をしない為のスピーチロックス研修を受け、スピーチロックス(言葉の拘束)・フィジカルロックス(身体的拘束)・ドラックロックス(薬物拘束)について学びました。他者に対して言葉で伝える際、言葉は足りているだろうか?・間違った言葉遣いはしていないだろうか?等、日々の支援を改めて振り返る事が出来たように思います。フィジカルロックスやドラックロックスのように道具や薬がなくても支援の中でスピーチロックスを簡単に使ってしまった事がある事に気付きました。

グループワークでは、ことば改善ワークで参加者同士の発表があり、他者の意見を聞き利用者様に対する接し方や言葉遣い等、良いと思った所は実践してみようと思える意見がありました。利用者様のレベルに合わせた話し方・説明を心掛けて支援していこうと思える研修でした。



滴翠会共同墓地にて

お墓参り

八月十日に滴翠会のお墓がある、市内の半ノ木霊園へ、明翠苑と慈翠館の職員二名と慈翠館の利用者様代表二名計四名でお墓の掃除とお参りを行なつてまいりました。久しぶりの利用者様も参加してのお参りに、じりじりとする暑さの中、一生懸命お掃除を行い、きれいになった墓石にお花とお線香をお供えし、心安らかな気持ちで仏様に思いを馳せる事ができました。

又、慈翠館では八月十七日に施餓鬼法要を予定していましたが、都合により中止となりました。来月のお彼岸には、皆様そろって法要ができると思いますね。まだまだ残暑厳しい日々の中、身体を動かかし、睡眠・食事をしっかりと摂って夏バテしないようにしましう。

関東地区救護施設

研究協議会に参加して

七月十三日に、県救協関東大会にリモートで参加しました。今回は、四つに分かれて分科会が開催され、その中の感染症・災害発生時の業務継続への取り組みでは、施設内でコロナウイルスのクラスターが発生した時の事例が発表されました。感染を拡げない為にレッドゾーンを決める等ゾーニングの実施や、食事・服薬等を居室で行い移動を控えて頂く等、極力人と人が接触しない為の対策が多く挙げられた事が印象的でした。他にも苦労した点として、感染により職員の数が足らなくなってしまう事が問題視され、予めの対処法があっても感染症の対応は難しいですが、今回学んだことを基に気を引き締めて業務に当たりたいと思いました。

9月の行事

| | |
|-------|-------|
| 敬老祝賀会 | 9月12日 |
| 彼岸法要 | 9月26日 |
| 誕生会 | 9月27日 |



訓練の様子

●特別養護老人ホーム
 明翠苑だより

石岡市半ノ木一―四八―一―
 TEL〇二九九―二三―九六二〇

避難訓練

明翠苑・華翠会館の避難訓練を八月二十二日に、行いました。

今回は、洗濯室より火災が発生し、火災報知器を作動させ、職員が利用者様を誘導するという内容で行いました。毎月、避難訓練を行っていることもあり、職員一人一人が協力し合っており、スムーズに避難場所へ利用者の皆さんを誘導することができました。利用者様は「避難できた」「ありがとう」などと言われていました。

今年、大正十二年の関東大震災から百年の節目を迎えます。今一度災害やその対策について考え直す機会です。災害は忘れたころにやってくる。職員一同日々の訓練を怠らず、もしもの時に備えて真剣にこれからも取り組んでまいります。

ボランティア

八月上旬、利用者様のご家族がボランティアで来苑してくださり、牡丹園の除草をして下さいました。

利用者様は、突然の訪問者にびっくりしていましたが、暑い中汗だくになって除草してくれている姿を目にして「ご苦労様」と声をかけていました。誠にありがとうございました。

かき氷まつり

今回は、事前に利用者様の要望を聞き職員が氷をかって作り、各食堂で召し上がりました。

メニューは、イチゴとメロンのシロップがあり、それに練乳をかけたり小豆をのせたりして、皆さんそれぞれ注文したかき氷を食べ「美味しい」と召し上がっていました。

ふあみり一通信

8月の出来事

8月1日「座談会・誕生会」が行われ、利用者の皆さんへ8月の予定を説明したり、皆さんからの要望などを伺いました。誕生会では、シャンプーとリンスの詰め合わせセットをプレゼントいたしました。

8月13～16日 お盆なので、13日に滴翠会のお墓へ仏様を迎えに行き、16日に送りました。これからも明翠苑先亡精霊のご冥福をお祈りいたします。

8月17日 夕方より慈翠館・明翠苑の合同夏祭りの予定でしたが、花火のみ慈翠館グラウンドにて行いました。皆さん「綺麗」と喜ばれていました。

8月23日「かき氷まつり」を行いました。味は、メロン・いちごの中から好みの物を選び召し上がって頂きました。

8月24日 毎月24日は明翠苑の「お地藏様の縁日」でおやつに甘酒を召し上がり、皆さんで縁日を祝いました。

明翠苑ニュース

(8月分)

| | | |
|---------|----|--------|
| 面会 | 0件 | 延0名来苑 |
| 外出 | 0件 | 外泊0件 |
| ショートステイ | 1名 | 延15日利用 |

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

入浴

今回は、明翠苑の入浴についてご紹介いたします。

明翠苑の入浴室には、3種類の浴槽があります。①一般浴槽、②リフト浴槽、③特殊機械浴槽です。

①一般浴は、ご家庭の浴槽と同じで、滑り止めマットや手すりなどが付いています。②リフト浴は、座ったままでもお風呂に入れます。③特殊機械浴槽は、寝たままの状態でもお風呂に入れます。

入浴は、利用者様にとって楽しみのひとつです。そのために、なるべくゆったりと気持ちよく入浴してもらうようにしています。

入浴は、他の利用者様に気をつかうことなく、一人ずつゆっくり入ってもらっています。一人の職員が利用者様を迎えに行き、衣類の着脱、浴室へ移動、入浴介助をするといったいわゆるマンツーマン入浴です。一人の職員が最初から最後まで介助するということで利用者様に余計な気をつかわずに、コミュニケーションをとりながら、安心感をもって入浴して頂くことができます。

今後も利用者様の声を聞きながらより良い入浴介助を行っていきけるよう支援してまいります。



和風フルーツポンチ作り

●デイサービスセンター
華翠会館だより

石岡市半ノ木一四八〇
 TEL〇二九九―二三一八二〇〇

利用者数 7名(男4名 女3名)
 レクリエーション ピンポン玉ゲーム

今日は、2人一組対面で間隔をあけて座ってもらい、握るとピンポン玉が飛び出すマシンを使って、飛び出したピンポン玉をバケツでいくつ取ることができるか競うゲームを行いました。マシンを持つ角度によって飛び方が違うので、苦戦しながらも皆さん楽しんでいました。

デイサービス日誌

8月5日(土)

利用者数 6名(男2名 女4名)
 クッキングクラブ 和風フルーツポンチ作り

今日は、「和風のフルーツポンチ」を作り、皆さんで頂きました。白玉粉に適量の水を加え、こねて丸めて茹でます。フルーツの缶詰めは食べやすい大きさに切っておきます。透明のカップに白玉とフルーツを入れ、サイダーを注ぎ、あんこをのせて出来上がり。皆さん美味しいと喜んでいました。

デイサービス日誌

8月15日(火)

翠すい **進**しん **会**かい

社会福祉法人滴翠会 退職職員後援会

滴翠会を退職された皆様の親睦と互助を進めます。

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一四八一一
TEL 〇二九九―二三―九六三四

新常陸國風土記

(第十回)

「ダイヤモンド筑波の空」

筑西 WALKER

秋の夜空に浮かぶ月が美しい時季となりました。皆様いかがお過ごしですか。さつま芋などの根菜類が美味しい季節、旬菜を取り入れ健康維持に繋げていきましょう。さて今回は新常陸國風土記、県西の中核都市*筑西市の魅力をご紹介します。

筑西市は平成二十七年に下館市・明野町・関城町・協和町が合併して誕生した街。その名の通り筑波山の西側に位置し▼母子島(はこじま)遊水地から見上げる▼ダイヤモンド筑波の美しさは

県内随一。(筑波山の二峰である男体山と女体山の丁度重なる部分から昇る太陽が遊水地の水面に反射して神々しく東雲(しのめ)色に輝く様子)この遊水地は市内を南北に貫く小貝川の氾濫を防ぐ為に治水目的で誕生した歴史をもちますが、現在は水と緑が調和した市民の憩いの場として親しまれています。

さて散策といきましょう。お勧めはレンタサイクル。窓口は▼道の駅グランテラス筑西。併設のサイクルステーションがあります。散策のお供に道の駅のベーカリー▼OHANAでコッパンとフルーツサンドを入手しましょう。ふんわり生地が魅力の逸品です。旧国道五〇号を進むと旧下館市の中心地。かつて▼関東の大阪と呼ばれた程の商都。所々に往時を偲ばせる趣が残り懐かしさを感じる事が出来ます。▼板山波山記念館には是非立ち寄りましょう。筑西市出身の希代の陶芸家。陶芸家としては我が国初の文化

勲章を受章。作品とその人柄は燦然と輝き市民の誇りとなっています。その後は下館駅に歩を進め▼真岡鉄道に乗車しましょう。(土日はSL機関車運行中)他では味わえない体験が日頃の疲れを癒してくれます。真岡駅には▼SL車両展示館が併設。次は筑西グルメ。▼下館ラーメン。又焼(チャーシュー)に鶏肉を使用、濃い目の醤油味である二点を共通項として市内中華店で提供。メディア取材多数と盛り上がりを見せています。お勧めは▼盛昭軒さん。昭和三十二年創業の老舗です。お土産は和菓子の▼湖月庵さん。館最中や▼(きぬのまゆ玉)など銘菓が並びます。空には筑波山、大地には小貝川、鬼怒川が流れる*水と緑が美しい筑西のまち。古き良き歴史を受け継ぎ芸術を愛する市民の人柄が、▼水面に映る名峰(筑波山)の如く訪れる人々を温かく包み込んでいます。

介護支援専門員 岡野 貴

私の^{メニュー}MENU

今月のことば 94

猫を追うより
皿を引け

☆南瓜のいとこ煮

「いとこ煮」の語源はいくつかあるようですが、その一つとして、材料が煮えにくいものから順にお鍋に入れて煮込んでいくことから「追々煮る」→「甥甥」となり、甥同士は「いとこ」であるからという説があるそうです。

●材 料 (2人分)

南瓜 1/4個 / 水 300ml / 砂糖 大さじ2 / 醤油 大さじ1
ゆで小豆缶 1缶

●作り方

- ① 南瓜を食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋に水、砂糖、醤油を入れ軽く混ぜ合わせ、南瓜を入れて中火で煮る。
- ③ 沸騰したら弱火にし、落し蓋をして南瓜が柔らかくなるまで煮る。
- ④ ③にゆで小豆を入れて、少し煮る。

慈翠館 管理栄養士 廣瀬 聡子

ご利用をお待ちしています

養 護 老 人 ホ ー ム 滴 翠 苑
 救 護 施 設 慈 翠 館
 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 明 翠 苑
 ユ ニ ッ ト 型 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 明 翠 苑
 シ ョ ー ト ス テ イ 施 設 明 翠 苑
 独 立 型 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 華 翠 会 館
 明 翠 苑 居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー
職 員 募 集 中 詳しくは施設へご連絡下さい

医 療 法 人 高 木 医 院
 宗 教 法 人 時 宗 華 園 寺
 社 会 福 祉 法 人 滴 翠 会 退 職 職 員 後 援 会 翠 進 会

